

感染状況・医療提供体制の分析(9月1日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (8月25日公表)	現在の数値 (9月1日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	1333人	1201人	↓	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 定点当たり患者報告数は 14.30人 とやや減少。医療機関や施設などでのクラスターは継続。お盆などによる人の移動や集まりは一旦落ち着いたが、 全国的にも岡山でも感染者数は高止まりの状況が継続している 。高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。体調不良時は外出しない(必要時には申し出る)、高齢者や基礎疾患のある方にはうつさないようにするといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。
		定点当たり数	15.87人	14.30人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	25.6%	22.8%	↓	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	8.73人	9.09人	↑	
		倉敷市保健所	23.56人	18.56人	↓	
		備前保健所	8.87人	11.73人	↑	
		備中保健所	26.17人	19.17人	↓	
		備北保健所	18.83人	20.00人	↑	
③ 入院患者数	真庭保健所	15.00人	20.00人	↑		
	美作保健所	15.90人	11.80人	↓		
	④ 入院患者数	347人	342人	↓	レベル3. 体制が逼迫しつつあると思われる	
医療提供体制	④ 確保病床における入院割合	39.7%	38.8%	↓	県全体としては医療提供体制は安定しているが、確保病床以外への入院や、新型コロナ以外での医療ひっ迫が見られており、通常医療への影響も持続している。	
	⑤ 重症者数	6人	7人	↑		